

2023年5月7日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第5号(通算3337号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10


TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひととも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会 

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書 11:25)

ふっかつせつ だい しゅじつれいはい
復活節 第5主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば しんめいき
招きの詞 申命記

しょう せつ
7章 7節

さんび か ばん しめ かみ
賛美歌 21-74番「キリストの示す神を」(©JASRAC)

せい しょ ふくいんしょ
聖 書 ヨハネによる福音書 15章 12-17節

いの
お 祈 り

さんび か ばん ひと さんびかかいていいんかい
賛美歌 21-393番「こころを一つに」(©讚美歌改訂委員会)

メッセージ「あなたが選んだのではなく、あなたは選ばれた」牛田匡 牧師

さんび か ばん しゅ う い
賛美歌 21-542番「主が受け入れてくださるから」(©JASRAC)

ユーカリスト うしだ ただし ぼくし
聖 餐 牛田 匡 牧師

きょうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんび か ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅ く ふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん きやうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こく ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ^{ことば} 招きの詞 申命記 7章 7節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

あなたがたがどの民よりも数が多かったから、主があなたがたに心引かれて選んだのではない。むしろ、あなたがたは、どの民よりも少なかった。

聖書 ヨハネによる福音書 15章 12-17節

(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

「¹²私^{いまし}があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の戒めである。¹³友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。¹⁴私の命^{しる}じることを行うならば、あなたがたは私の友である。¹⁵私はもはや、あなたがたを僕^{しもべ}とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。私はあなたがたを友と呼んだ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。¹⁶あなたがたが私を選んだのではない。私^{しる}があなたがたを選んだ。あなたがたが行って実を結び、その実が残るようにと、また、私の名によって願うなら、父が何でも与えてくださるようにと、私があなたがたを任命したのである。¹⁷互いに愛し合いなさい。これが私の命令である。」



《先週のメッセージより》4月30日

「共に在り、共に有る」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 使徒言行録 2章 42-47節

復活のイエスによって新しい命を与えられた初代教会の生活を描く本日の御言葉には、「何かをする」という意味の言葉が多く用いられており、初代教会は「何かをする」共同体だった、という印象を受ける。けれど、「自己責任、生存競争、生産性」といった言葉が当然のように飛び交う時代を生きるわたしたちは、「行い」が強調され過ぎることの怖さを知っている。何かをなすこと、産み出すこと、数値に見える形で貢献することが良しとされる社会では、その反動で個々人の命、存在がないがしろにされていく。初代教会もその危うさから完全に自由ではなかった。「使徒言行録」5章には、財産を分け合うことのできなかった一組のカップルが、教会のリーダーにその事実を咎められた直後に死んだ（殺された?）、という記述が残されている。

だとすれば、イエスを信じる共同体である教会の特徴は「何かをする」ことだけには求められない。42節と46節の「ひたすら」という言葉。行為を示す言葉が多く用いられている箇所であって、それらに先立ち二度にわたり記されている。品詞としては、行為を示す言葉たちと同じく「動詞」なのだが、それらとは異なり、この「ひたすら」は、何かをするという行為ではなく、「こうである」という状態を示す動詞である。「ある状態に居続ける」「同じ状態に留まる」という意味。その留まっている状態、同じ状態とは、「皆一つになって」（44節）いること。ここで用いられているのは、「ある」という動詞。英語で言えばbe。「何かをする」という動作ではなく、存在を表す「ある」。さらに、46節では、「ひたすら」という言葉のあとに「心を一つにして」という表現が用いられ、単に身体的な意味だけではなく、精神的、霊的にも「共に在る」ことが伝えられている。「いる」「ある」「生きている」。一人ひとりの命と存在が大切にされ、そこにこそ価値が見いだされる共同体。イエスが求め、わたしたちに伝えた教会の姿。

社会が求めること、みんなが求めること、それができなくて、産み出せなくて、何も貢献できなくて、できないことを咎められるのが怖くて、一緒にいられない。逃げたい。もう逃げている。そんな思いを抱くわたしたち一人ひとりに、だれも取り残すことなく、愛の内に暖かく包んでくれるイエスの言葉が響いている。「あなたが、今、生きてくれてありがとう。今、わたしと共にいてくれてありがとう」

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (4月30日)

礼拝出席 大人3名 献金 大人4,000円 中継動画再生数14回 感謝

◎次週 2023年5月14日(日) 家族の日礼拝(復活節第6主日礼拝)

招きの詞 詩編 34編 9-11節

聖書 テサロニケの信徒への手紙II 3章 1-5節

メッセージ「信頼に値するかた」水谷憲牧師

賛美歌 21-211 (©JASRAC)、21-401 (©教団讃美歌委)、21-497 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、5月期の「教会を考える会」(役員会)を行う予定です。どなたでもご出席いただくことができます。
- ・5月9日(火)9時半~18時の予定で、大阪教区定期総会がカトリック玉造教会にて開催されます。久宝教会からは、牛田牧師と さんが出席予定です。
- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は「緑色」に変更され、マスクの着用も個人の判断に任せられるようになりました。引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日13時半より講演会・討論会「新型コロナウイルス感染症 忘れないで! 亡くなった人のことを」(主催・龍谷大学社会的孤立回復支援研究センター)が開催されます。会場は京都・龍谷大学アバンティ響都ホールですが、当日に録画されたものを、後日に視聴することも可能です。申し込みは本日の正午までに、下記のURLもしくはQRコードから、お申込みください。

<https://forms.gle/UDGyZabv7wtn8Q838>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/14	水谷牧師	家族の日礼拝 服部墓前礼拝?
5/21	牛田牧師	
5/28	岡嶋伝道師	ペンテコステ 誕生者祝福式 おにぎり支援
6/4	牛田牧師	ユウカリスト 教会を考える会

新型コロナウイルス感染症

忘れないで! 亡くなった人のことを

Withコロナ 誰もが悲しみを語る社会へ
講演会・討論会

第一部 講演会 13:30~14:40

**人権としての死と別れ
—コロナ時代の人間の尊厳を問う—**

講師 柳田邦男 (ノンフィクション作家・評論家)

第二部 討論会 14:50~16:30

**感染症5類引き下げ前日に語る
Withコロナ 誰もが悲しみを語る社会へ**

コーディネーター 黒川雅代子
龍谷大学短期大学部教授・龍谷大学社会的孤立回復支援研究センター長
龍谷大学感染病ネットワーク代表

登壇者

- 柳田邦男 (ノンフィクション作家・評論家)
- 高田かおり (新型コロナウイルス感染症 自衛隊医療支援隊共同代表)
- 守上佳樹 (KISA2期 オヤカタ 医師)
- 島田招子 (龍谷大学感染病ネットワーク コロナウイルスで大切な人とお別れした人のためのつどい場 参加者)
- 杉本大樹 (新型コロナウイルス感染症 遠征支援員)

2023年5月7日(日) 13時開場

会場 龍谷大学アバンティ響都ホール
<https://www.ryukoku.ac.jp/ryudohall/access/>

※開場前(開会式)は、13時開場 入場券より徒歩約1分
※開ホール(アバンティ)へは、店内乗降エレベーターをご利用ください。

定員 300名(先着順) 後日録画済みの録画配信あり **参加費** 無料

【主催】 龍谷大学社会的孤立回復支援研究センター
【共催】 龍谷大学感染病ネットワーク・コロナウイルスで大切な人とお別れした人のためのつどい場
新型コロナウイルス感染症自衛隊医療支援隊

申し込み方法

会場参加
後日編集後の録画配信希望の方

いずれも左記のQRコードまたは、
以下のURLから登録をお申し込みください。
Web申し込みが難しい方は、
お電話にてお申し込みください。

<https://forms.gle/UDGyZabv7wtn8Q838>

締め切り 5月7日 正午

RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学社会的孤立回復支援研究センター
〈研究部 人間・科学・宗教総合研究センター事務局〉

〒612-8577 京都市伏見区深草藤本町67
☎ 075-645-2154 / 075-645-2240
✉ sir@ed.ryukoku.ac.jp
<https://ir.rju.jp/>